

第6回スポーツファシリティーズ大賞（日本スポーツ施設協会会長賞）

受賞名：栃木県総合運動公園陸上競技場

受賞者：久米・AIS・本澤特定建築設計業務共同体

【受賞理由】

卓越風と共生する躍動感あるデザイン性の高いスタジアムであり、県産自然素材を積極的に活用した優れた建築設計であること。その他、以下の点が評価された。

- 利用者にとっての機能向上と利便性や経済性、省エネ等の工夫がなされており、管理者にとっての機能向上についても考慮されている。
- 施設の立地条件や周辺環境等の特性への配慮、地域ニーズ（防災拠点、地域交流拠点等）への対応、地域との連携に優れているほか、スポーツ医科学センターも併設している。
- 日照の最大化を生かし芝生育成環境と地域環境を活かし、大規模防災備蓄倉庫を整備している。



<概要>

施設概要：第1種公認陸上競技場 兼 サッカーJ1 施設基準サッカー競技場

敷地面積：545,803.74 m²（公園全体）

施設面積：建築面積 19,910.82 m²、延床面積 42,037.52 m²

竣工年月日：2020年3月27日

評価実績等：日本建築家協会優秀建築選 2021 入賞

2021年度グッドデザイン賞 第54回日本サインデザイン賞他